

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月15日

事業所名 キッズ☆station長浜セカンド

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	段差があるところは職員がついています	危険な箇所がないか常に確認をし段差など職員が必ず付くようにしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			日々のミーティングで検討し、必要に応じて改善できるよう取り組んでいます。参加できない職員に対しては情報交換のファイルで確認できるようにしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている				
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修会の情報収集を行っています。	できるだけ多くの職員が参加できるよう調節を行っています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している				
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			毎月チームで立案を行い、毎月の実施の計画に関しては担当者を決めて行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		3か月ごとに見直しを行っています。	3か月ごとに内容等を検討し利用者の成長等に応じて変更を行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している				平日、休日においては課題を設定して取り組むことができます。今後、長期休暇においても課題を設定し支援できるように検討していきます
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している				子供の状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画を作成していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			ミーティングを行い利用者の状況や活動内容、役割などの確認を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		全職員が共通の認識を持って対応できるように情報交換を行っている。	日々の記録を記入する際、振り返りを行い、情報の共有を行っています。必要に応じて情報交換のファイルに記入して全職員に伝わるようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			日々の支援に関しては、個別記録や連絡帳に記入しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			自立支援、創作活動、余暇、食育の支援を個別・集団で行っています。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		職員と事前に意見等を聞き、管理者及び主任児童指導員がサービス担当者会議に参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		必要に応じて学校のお迎え時に担当の先生と連絡を取っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	現時点では医療的ケアが必要な子供の受け入れができる体制ではありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			必要に応じて情報の共有をしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			必要に応じて連携をとっています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている			6か月毎の面談にてお子さんの状況を伝えていきます。また、必要に応じて送迎時にもつたえるようにしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	専門的知識を持った職員がいないのでできていません。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に重要事項説明書、契約書にて説明をおこなっています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	今後保護者の意見を聞いて実施ができるように取り組んでいきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		重要事項説明書に苦情申立先を記載し、適切に対応できるよう努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月通信の発行を行い、行事予定等を記載し、発進しています。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報の取り扱いには十分配慮し、全職員に周知しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		様々な手段でコミュニケーションをとっています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している				各マニュアルは策定しています。職員には周知できていますが、保護者には周知できていません。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			年に1～2回の避難訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止の研修は毎年常勤職員は全員参加しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		対象の利用者がいないので行えていません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				医師の指示書が必要な児童はいません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		その都度ヒヤリハットの記入をし全職員で共有するようにしています。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和6年3月16日

事業所名 キッズ☆station長浜セカンド 保護者等数(児童数) 30名 回収数 22名 割合 73.3 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	4				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15	5				
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	7				
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	17	5				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	17	5				
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	8	7			
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	2	1			
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	17	5	1			
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	2	4			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	7	9		是非やって頂きたい	今後実施できるよう検討していきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	5	1			
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	4	1			
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17	5				
14 個人情報に十分注意しているか	19	3					
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	8	4			
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	12	2		やっておられるか知らない	ご家族の方には知っていただけるよう発信していきます。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	19	3				
	18 事業所の支援に満足しているか	17	4	1			

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。